

For Earth, For Life
Kubota

第124期 中間

平成25年4月1日から平成25年9月30日まで

クボタ通信



株式会社クボタ

株主の皆様へ

株主の皆様には格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

クボタ通信(第124期中間)をお届けするに当たり、ご挨拶を申し上げます。

当上半期(平成25年4月1日～平成25年9月30日)のクボタグループの業績につきましては、売上高は、前年同期比1,656億円(29.4%)増加して7,291億円となりました。国内売上高は、機械、水・環境、その他の全部門で増加となり、285億円(11.2%)増の2,823億円となりました。海外売上高も、為替改善の影響もあり機械部門が大幅な増収となったほか、水・環境、その他部門も増加し、全体では1,371億円(44.3%)増の4,467億円となりました。

営業利益は、国内、海外での増収効果に加え為替の改善などにより、前年同期比446億円(80.1%)増加の1,003億円となりました。税金等調整前純利益は、営業利益の増加に加え有価証券売却益の増加などその他の収益の改善により、529億円(99.7%)増加の1,060億円となりました。法人所得税は356億円の負担となり、非支配持分控除前純利益は380億円(110.3%)増加の726億円となりました。当社株主に帰属する純利益は、前年同期を361億円(115.7%)上回る674億円となりました。

株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年12月

代表取締役会長兼社長

益本 康男

取締役会メンバー ※社外取締役



久保 俊裕 坂本 悟 水野 譲* 佐藤 純一* 木股 昌俊 木村 茂
益本 康男 富田 哲司

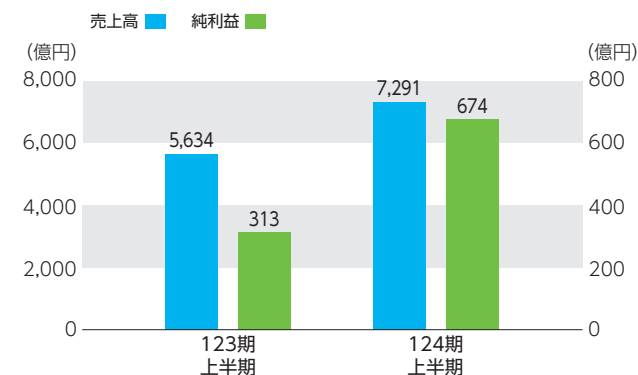
中間配当金のお知らせ

- 1 中間配当金
1株につき10円
(総額12,563,101,660円)
- 2 中間配当金の基準日
平成25年9月30日
- 3 支払開始日
平成25年12月2日(月曜日)

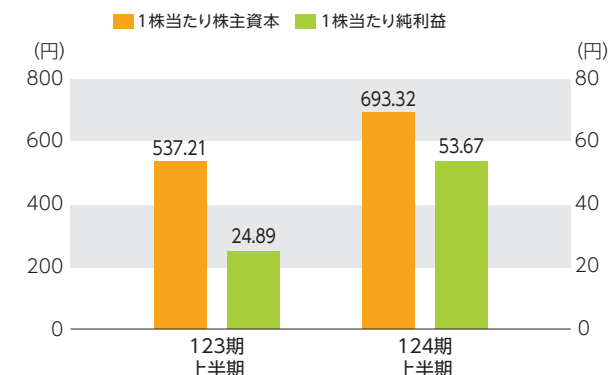
連結業績ハイライト

	123期上半期	124期上半期	増減
売上高	5,634億円	7,291億円	+ 1,656億円
純利益	313億円	674億円	+ 361億円
1株当たり株主資本	537.21円	693.32円	+ 156.11円
1株当たり純利益	24.89円	53.67円	+ 28.78円

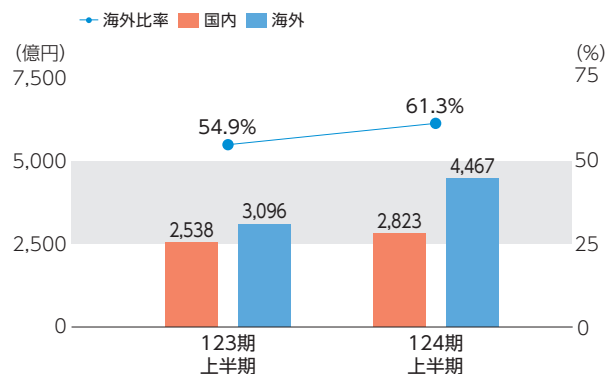
売上高・純利益



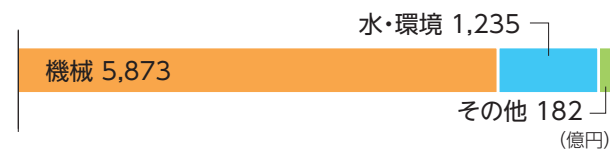
1株当たり株主資本・1株当たり純利益



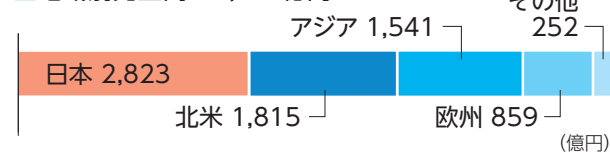
国内・海外別売上高



セグメント別売上高 7,291億円



地域別売上高 7,291億円



※1 当期より決算期が連結決算日と異なる一部の連結子会社等について、連結決算日に仮決算を行い連結する方法に変更しています。これに伴い、連結子会社等における決算期変更の影響を反映させるため、123期上半期実績を適時的に調整しています。 ※2 本頁の純利益は、米国会計基準における「当社株主に帰属する四半期純利益」です。

事業の概況

機 械	農業機械および農業関連製品、エンジン、建設機械等		
■ 売上高	5,873 億円	前 年 同期比	+ 34.7 %
■ セグメント利益	1,030 億円	前 年 同期比	+ 72.2 %

国内売上高は、14.2%増の1,629億円となりました。農業機械は、経営所得安定対策などで農業収入が安定的に推移したことにより増収となり、建設機械も堅調な建築需要を背景に増加、エンジンも売上を伸ばしました。

海外売上高は、44.7%増の4,244億円となりました。北米では、エンジンは微増にとどまりましたが、トラクタは好調な需要に加え新製品の投入により大幅な増収となり、建設機械も景気回復を背景に大幅に増加しました。欧州では、需要の底打ちと販売促進の強化により、トラクタ、建設機械が大幅に増加、エンジンも堅調に推移しました。アジアでは、作業機が中国・タイを中心に引き続き大幅に伸張、トラクタ、エンジンも増加となったほか、建設機械も中国での需要の回復に加えタイの需要拡大により大幅な増収となりました。

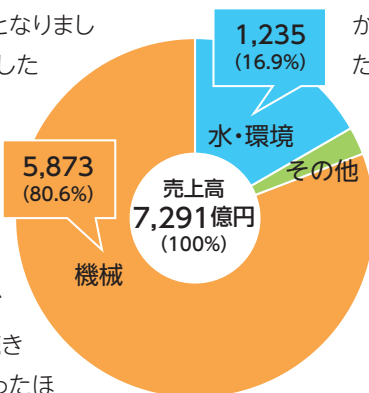


6条鉄コーティング直播専用機「鉄まきちゃん」

水・環境	パイプ関連製品（ダクタイル鉄管、合成管、ポンプ、バルブ等）、環境関連製品（各種環境プラント等）、社会インフラ関連製品（素形材、スパイラル鋼管、自動販売機、精密機器、空調機器等）		
■ 売上高	1,235 億円	前 年 同期比	+ 10.0 %
■ セグメント利益	69 億円	前 年 同期比	+ 30.1 %

国内売上高は、7.3%増の1,037億円となりました。パイプ関連製品は、ダクタイル鉄管、合成管が増収となり、環境関連製品も増加しました。社会インフラ関連製品は、スパイラル鋼管、精密機器、空調機器は増加しましたが、素形材が減少したため横這いとなりました。

海外売上高は、26.9%増の198億円となりました。ダクタイル鉄管、ポンプが伸張したことによりパイプ関連製品が大幅な増収となり、環境関連製品、社会インフラ関連製品も増加しました。



空気清浄機
ピュアウォッシュャー

そ の 他	工事、各種サービス事業等		
■ 売上高	182 億円	前 年 同期比	+ 19.8 %
■ セグメント利益	8 億円	前 年 同期比	+ 22.5 %

トピックス

日本産米の輸入精米販売会社をシンガポールに設立

当社は、最新の自社製精米設備を備えた日本産米の輸入精米販売会社「Kubota Rice Industry (Singapore) PTE Ltd.」を2013年7月、シンガポールに設立しました。昨年4月に事業を開始した「久保田米業(香港)有限公司」同様、玄米を輸入し、現地で精米するという当社の特徴を活かした精米販売事業をシンガポールでも展開し、おいしい日本産米を提供します。当社は、今後も海外での日本産米の輸入精米販売事業を拡大させることで、日本農業の大きな課題である農産物の輸出促進を支援してまいります。



精米設備を設置した食品加工団地のビル

南米・コロンビアでディストリビューターミーティングを初開催

当社は中南米のトラクタ市場を開拓するため、2013年8月、コロンビアで中南米の農機ディストリビューターとのミーティングを初めて開催しました。参加した8カ国20名のディストリビューターは、お互いのネットワークを築くとともに、新製品投入などの提案やデモンストレーションなどを通じて、各市場での販売活動に有効なPR方法を共有しました。今回のミーティングを機に当社と中南米ディストリビューターが一丸となり、さらなる拡販に取り組んでまいります。



山間部のジャガイモ畑で活躍するM型トラクタ

ミニバックホー生産40周年

当社のミニバックホーは、今年で生産40周年を迎えました。1973年に枚方製造所で生産を開始し、1978年には欧州と北米に初の輸出を行い、現在では日本、ドイツ、中国に生産拠点を確立するまでに拡大しています。今後は、さらなる事業拡大を図るべく、コンパクトトラックローダなどの小型汎用機械の開発に注力するとともに、排ガス対応を機に国内市場向け新製品の開発を進めます。これらの取り組みによりミニバックホー専業メーカーから小型建機総合メーカーとして、圧倒的世界トップのポジションを目指してまいります。



米国最大規模のMBR水再生処理施設向け液中膜を受注

北米における液中膜事業の拠点である、クボタメンブレン U.S.A. コーポレーションは、米国オハイオ州カントン市の水再生処理施設向けに「大規模処理施設向け膜分離装置 液分中膜」を受注しました。この施設はMBR[※]を用いた処理場としては米国で最大規模であり、処理能力向上のための改造にあたり既存設備の有効活用が求められておりました。クボタは性能を高めてコンパクト化した新製品を開発し受注に結び付けました。今回の受注を契機に欧州や中東などでの大規模施設案件も受注できるよう事業活動を拡大させてまいります。 ※MBR…膜分離活性汚泥法



現地で行われた調印式典の様子



納入するクボタ液中膜

カンボジアおよびラオスの 農業機械販売強化

タイの合弁子会社であるサイアムクボタコーポレーションは、2014年1月、カンボジアとラオスに新会社を設立します。今後、農業機械の需要増大が予想される両国のディーラー網とサービス体制の強化を図り、2015年には、カンボジアで約150億円、ラオスで約60億円の売上高を目指します。

トラクタ「ワールドシリーズ」 第2弾を発売

当社は、高い基本性能を備えながら、機能を絞り込んだシンプル設計により低価格を実現する「ワールドシリーズ」の新モデルとして、トラクタでは第2弾となる「M72W」を発売しました。グローバルに展開するスケールメリット、コスト競争力を活かし、同馬力帯の現行機よりも約4割安い価格を実現し、農家の生産コスト低減に貢献します。



材料研究開発組織 「マテリアルセンター」を新設

当社は、鑄鉄・鑄鋼やセラミックスなどの材料研究開発を行う全社的な組織としてマテリアルセンターを新設しました。当組織が中心となって、今後は長期的な視点に立ち、全ての事業の製品の材料開発に対応できる体制を整えます。これにより、高機能化した材料を農機・建機事業、水環境事業などの製品にタイムリーに採用することで差別化を図り、製品競争力を強化します。

クボタeプロジェクト アクティブ・ラボ2013を開催

「食料・水・環境」分野の社会問題について、次代を担う若い方々に一緒に考え学んでもらおうと、参加者が積極的に意見を交わすアクティブ・ラーニングという手法によるイベントを実施しました。今回はナビゲーター・講義を東京大学大学院の渡邊雄一郎教授にお願いし、「生命になぜ水が必要か」というテーマで9月21日に東京大学で高校生を対象に開催しました。



クボタスピアーズ トップリーグにて活躍中



3季ぶりのトップリーグ復帰を果たした当社ラグビーチーム「クボタスピアーズ」。

スピアーズは「槍」を意味し、目指すは敵のディフェンスを鋭く突き破る攻撃力と、突き刺さるタックルで敵の攻撃を寸断するディフェンス力を兼ね備えたチームです。2ndステージでも、チャレンジャーらしく思いきり戦い、最後の最後までひたむきにプレーし、勝利に向けて全力を尽くします。皆さまのご声援をよろしくお願いたします。



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月に開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日
単元株式数	1,000株
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行(株) 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行(株)証券代行部 tel 0120-782-031 (フリーダイヤル)
取次窓口	三井住友信託銀行(株)本店および全国各支店
公告方法	当社ホームページに掲載
上場証券取引所	東京証券取引所

表紙写真



『秋晴れ』

空の青、土手に咲く彼岸花の赤、
たわわに実った稲穂の黄、三つの
色のコントラストが印象的な写真
です。

撮 影:松井文郎さん
 撮影地:愛知県半田市

この写真は第8回クボタフォトコン
テスト(平成25年)の入賞作品です。

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
 なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設された株主様は、
 特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行(株)にお申出ください。

未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行(株)にお申出ください。

配当金計算書について

配当金支払い時にお送りしている「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく
 「支払通知書」を兼ねています。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いた
 だくことができます。確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。

なお、配当金領収証にてお受取りの株主様につきましても、配当金支払いの都度「配当金
 計算書」を同封しています。